

No. 02

Example Report

Builder /
リアライズ

Note /
東信地区 O邸
家族構成 3人

A 庭の木々に包まれるように立つO邸。グレーのレンガ敷きの前庭と、黒壁の平屋がシックな佇まいを演出する。ガレージから玄関に抜けるアプローチには、木製ルーバーを配しているのがアクセント。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

敷地に合わせてゆったりと建てられた平屋には、LDK、ご夫婦と娘さんの部屋、ゲストルームをレイアウト。森のような庭とつながるウッドデッキも設けられ、愛犬とともに、信州での暮らしを慈しむ日々です。

心うるおう豊かな緑を 暮らしに取り込んだ平屋

愛犬に導かれるように
信州で叶えた二拠点生活

みずみずしい木立に囲まれた別荘地。グラデーションが美しいタイルと黒い塗り壁をまとった平屋が、豊かな緑と調和するように漂と佇んでいます。

横浜を拠点に暮らすOさんがこの場所と出会ったのは、愛犬

もう1つのお気に入りには、リアライズの提案で洗面室横に設けた約2.5畳の坪庭。ライトアップした庭を眺めながら湯船に浸ければ、心までほぐれるような

ますね」

炎を眺めているだけで、癒され

も出ず、燃料も場所を取りません。

います。着火も簡単で、煤や煙

バイオエタノール暖炉も置いて

れたかったのです。リビングには、

房だったので、ここでも取り入

に駐在していたときの家が床暖

つも快適だといいます。「ドイツ

全館床暖房によって、室内はい

に包まれますが、高断熱仕様と

宝しています。冬は厳しい寒さ

ちな滞在時や買い物帰りにも重

がる動線は、荷物が多くなりな

納を通して玄関ホールへとつな

10日ほど。ガレージから土間収

に滞在するのは毎月1週間から

都会との二拠点生活で、信州

き立っています。

イドアも、開放感をいっそう引

と感した第一印象そのまの空

間です。5m近い天井高と、O

さんが希望した天井まで届くハ

イドアも、開放感をいっそう引

き立っています。

森のような風景と響き合う、モノトーンの住まい

時間が流れます。

春は桜、初夏にはご主人が手

入れするバラやジャーマンアイ

リス、秋は紅葉に栗拾いまで。

家にいながら、移りゆく四季を

家族で満喫しています。「毎年違

う表情を見せてくれるから、飽

きることはありません。どの季

節も格別で、この家で過ごすの

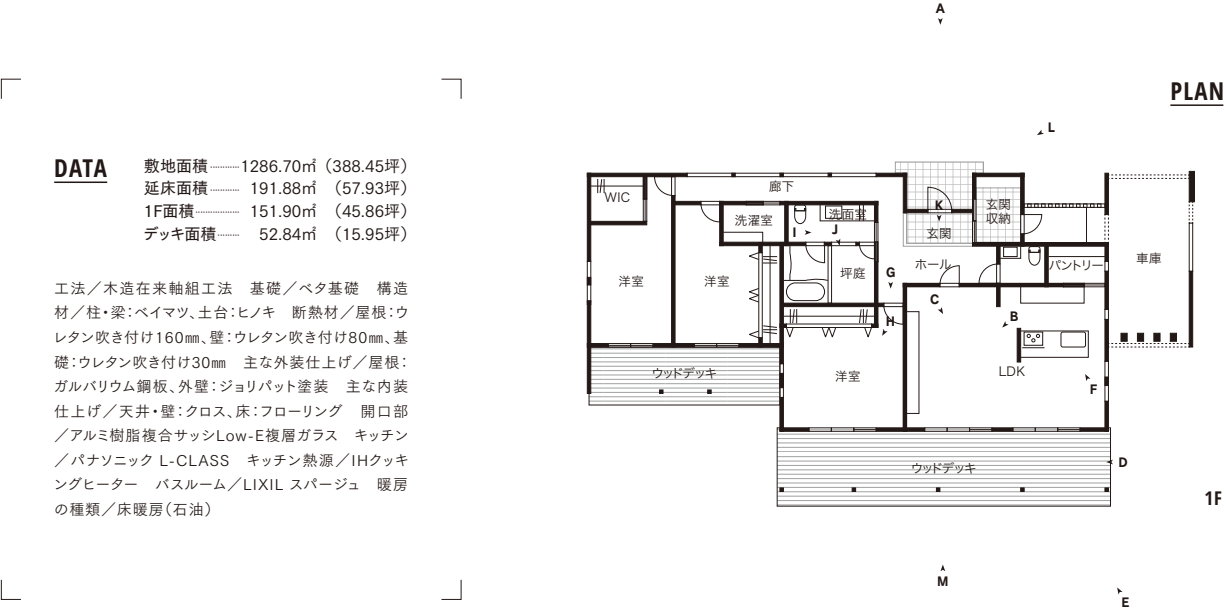
がとても楽しみです」

B グレー系の内装で統一したリビングは、天井が高く開放感たっぷり。テーブルの奥にあるのが、ガラス越しに炎を楽しめるバイオエタノール暖炉。 **C** 大きな掃き出し窓から庭の緑を見渡す、居心地のいい空間。「ペンダントライトなど、インテリアは“3連”をテーマにしました」とOさん。 **D** リビングから続くウッドデッキで、ソファに座って庭を眺めるのが至福のひとつ。愛犬も、このデッキでよくお昼寝しているという。 **E** セカンドハウスはワンフロアで完結する平屋が理想だったそう。Oさんの希望を詰め込み、思い描いていた住まいが実現できた。





L・M 前庭のロックガーデンと庭のバラのアーチは、庭師の手によるもの。暮らし始めてからは、ご主人が積極的に庭づくりを楽しんでいるという。「いろいろな植物や花を植えています。バラだけでも20種類くらい咲きますよ。気候の移り変わりに対応できない植物もあって難しいですが、楽しいですね」



Comment

Owner: Oさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

- A 自分たちが好むテイストと合致し、対応力に優れたビルダーさんとの出会い、イメージを共有すること。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

- A 全館床暖房にしたこと。寒さ厳しい冬も、家中の温度差がなく、底冷えすることがありません。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

- A こちらの要望を理解し、対応してくれたこと。土地を知り尽くしているからこその的確な提案もありがたかったです。

Builder: 代表／篠原幹雄さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

- A ロケーションを生かして広がる平屋。周囲の自然を最大限に取り込んで、ゆったり心地よく過ごせる住まい。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

- A 坪庭のある間取り、グレー系の素材でコーディネートされた内装、広い玄関ホールと車庫動線。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

- A 住まう人が幸せになる家づくり。住みやすさとデザイン性を兼ね備え、細部にわたり快適さを追求しています。

F 横浜の家が白ベースのキッチンなので、この家では黒に統一。吊り天井を設け、換気扇を目隠ししてすっきりした印象に。吊り戸棚の上には3連を意識して、イッタラのマリボウルをディスプレイ。 **G・H** 寝室は、森の中のリゾートホテルのよう。建物に凹凸を設けたことで、小窓からも光と緑を取り込める。 **I** 洗面室にはタオルや着替えをしまえるよう、デザインを揃えつつ収納もしっかり確保。奥に見えるのが、玄関ホールと玄関収納。 **J** バスルームから眺められる坪庭。雨や雪が入らない屋根付きで、植栽は軽井沢に自生する木を模したフェイクグリーン。非日常のバスタイムが楽しめる。 **K** 玄関ホールも広々。大理石風のタイルの壁が、ホテルライクな高級感を醸し出す。こちらの照明も3連。

